

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：公衆衛生費 目：食品衛生指導費

事 業 名 獣医師確保対策事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 生活衛生課 動物愛護係 電話番号：058-272-1111(内3413)

E-mail : c11222@pref.gifu.lg.jp

1 事 業 費 460 千円 (前年度予算額) 618 千円

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 財 源
前年度	618	0	0	0	0	0	0	0	618
要求額	460	0	0	0	0	0	0	0	460
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

令和7年度4月1日現在、獣医系大学は、国公立11校、私立6校で総定員数は1,070名である。

例年1,400名が獣医師国家試験を受験し1,000名前後が合格しているものの、その大部分が動物病院へ就職しており、公務員獣医師はわずか1割程度である。

しかも、公務員獣医師希望者の多くは大都市の自治体（首都圏）に集中し、地方の自治体はわずかな応募者の確保を競い合う状況にあり地域間格差が非常に大きい。

このような状況の中、本県ではこれまでに選考試験受験年齢の上限の引き上げ（49歳）や試験会場の拡大、試験日程の変更等により人材の確保に努めてきたが、コロナ禍以降、応募者が減少し職員定数を満たす採用ができず衛生獣医及び農政獣医を合わせて19名の欠員が生じている。（令和7年4月1日現在）

これらのことから、健全な組織の運営を図るために、従来のリクルート活動を強化することにより安定的かつ計画的に新卒者の採用を確保する必要がある。

(2) 事業内容

獣医系大学の学生に対し公務員獣医師の魅力を伝え、採用試験の応募者を確保するため次の取組を行う。

- ・入庁実績の多い獣医系大学を重点的に大学が開催する就職説明会や教員・学生からの個別要請に応じOB職員（リクルーター）を派遣し、岐阜県の魅力と業務内容についてプレゼンテーションを行う。
- ・岐阜大学応用生物科学部共同獣医学科の学生に対し、県の動物愛護管理・公衆衛生業務に関する講義を実施する。
- ・獣医系大学の学生に対し、豚熱関連施策に関する講義を実施する。（農政部）
- ・インターンシップ実習の受け入れを行い、現場実習を通じて岐阜県の獣医師業務の理解を深めてもらう。
- ・岐阜大学応用生物科学部のオープンキャンパスに職員を派遣し、共同獣医学科入学を目指す高校生と保護者に対し公務員獣医師の業務のプレゼンテーションを行う。
- ・県公務員獣医師確保研究会を定期開催し、現状及び課題の把握、取組計画を策定する。

(3) 県負担・補助率の考え方

獣医師免許を持つ優秀な人材を採用し、県の動物行政を推進し、併せて公衆衛生水準を維持していくためには県負担が妥当。

(4) 類似事業の有無

獣医師確保修学資金給付事業補助金（農政部）

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	397	獣医学系大学就職説明会等旅費
消耗品費	63	就職説明会消耗品等
合計	460	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

多くの県で就職説明会への参加（37道県）、インターンシップ実習の受入れ（45都道府県）、修学資金貸与事業（14県）を行っている。

事 業 評 價 調 書 (県単独補助金除く)

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

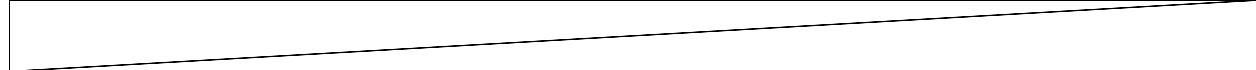
- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

将来、県の公衆衛生水準の低下を招かないよう、公務員獣医師を安定的かつ計画的に採用し、適切な人員配置が可能な組織に近づける。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (H30)	R6年度 採用実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①新卒者の採用数 (衛・農)	衛1人 農4人	3人	6人	6人	6人	

○指標を設定することができない場合の理由



(これまでの取組内容と成果)

令和 4 年 度	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜大学オープンキャンパスに参加 ・インターンシップ実習受入れ (24名) ・現場見学ツアー受入れ (1名)
	指標① 目標 : <u>6人</u> 実績 : <u>0人</u> 達成率 : <u>0%</u>
令和 5 年 度	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜大学オープンキャンパスに参加 ・インターンシップ実習受入れ (15名) ・現場見学ツアー受入れ (1名)
	指標① 目標 : <u>6人</u> 実績 : <u>3人</u> 達成率 : <u>50%</u>
令和 6 年 度	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜大学オープンキャンパスに参加 ・インターンシップ実習受入れ (8名)
	指標① 目標 : <u>6人</u> 実績 : <u>3人</u> 達成率 : <u>50%</u>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	県民の生活衛生及び食品安全を確保するためには、畜産物の生産から消費まで、食品の製造・流通の過程で獣医師による専門性の高い業務管理が必要不可欠である。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
(評価) 1	都市部と地方における受験者の地域間格差が大きく、地方の自治体が受験者を取り合い採用者を確保できていない。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
(評価) 1	新型コロナ感染防止対策のためオンライン方式だった就職説明会を対面式に戻した大学が多く、リクルーターの出張が増えてきている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

- 公務員獣医師の仕事に魅力を感じていない学生が多いと思われる。
- 岐阜大学生の受験者が激減しているほか、岐阜県出身で県外の大学生の受験者もいない。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

- 採用募集の強化（ホームページの拡充、業務説明内容の見直しほか）
- 試験方法（日程、科目、募集枠）の見直しに関する人事課との協議
- 広報対象者の拡大（中高生への仕事紹介）
- インターンシップの実施内容の見直し
- 岐阜大学生の就職動向調査、岐阜県内の高校生の進路状況調査

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	獣医師確保修学資金給付事業補助金 【家畜防疫対策課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	獣医師職員を確保するための制度であり、連携して実施することで優秀な新卒者の確保が期待できる。